

霞堤地区浸水被害軽減対策計画

第1.1版 改訂のポイント

豊川霞堤地区における浸水被害の軽減を図るため、国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所、愛知県東三河建設事務所、豊橋市、豊川市、豊川改修期成同盟会、豊川改修促進期成同盟会で構成する「**豊川霞堤地区浸水被害軽減対策協議会**」(平成28年1月18日設立)において、平成28年7月12日に「**豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画**」(以下、「本計画」という。)を策定しました。

本計画の策定から約8年が経過し、実施項目の取組みが進んだことを受けて、本計画をR16年度までの計画とし、改訂案を作成しています。令和6年度以内に関係機関の意見を反映した二次案を作成し、令和7年度の作業部会等にて住民の意見を募ります。

✓ 本計画の延伸について追記しました

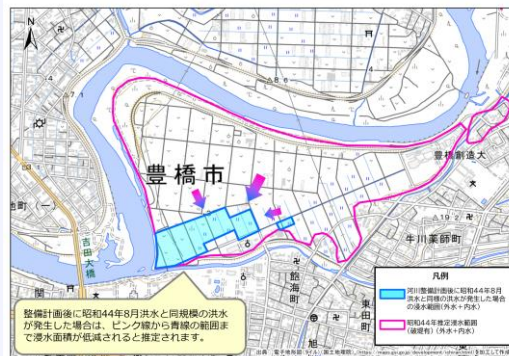
当初は平成37年度(令和7年度)までの計画でしたが、**上流部の設案ダム建設事業の工期延伸**に伴い、本計画も**令和16年までの計画に延伸**しました。(令和6年度現在)。

● : 実施済 ▲ : 実施中

区分	カテゴリ	No.	内容	実施主体	第1期 計画期間(平成37年度～令和37年度)	第2期 計画期間(令和38年度～令和47年度)	第3期 計画期間(令和48年度～令和57年度)	実施状況
Ⅰ 河川整備(河川)	1	治水関係単独施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	2	C/T・V・カメラ・簡易水位計等の設置	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	3	ホームの配置やアスファルトの補修等	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	4	河川・ダム・霞堤地区の治水関係施設	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	5	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
Ⅱ 河川整備(河川)	6	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	7	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	8	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	9	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	10	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
Ⅲ 河川整備(河川)	11	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	12	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	13	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	14	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済
	15	治水関係施設の整備	河川事務所	(河川)	●	●	(計画) (河川) (河川)	実施済

✓ ハード対策の効果を追加しました

本計画のハード対策、および豊川水系河川整備計画が完了した後に、昭和44年8月洪水と同規模の洪水が発生した場合の浸水面積の低減効果を追加しました。

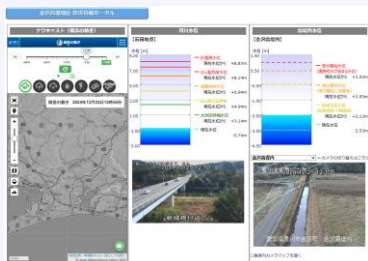


✓ 令和6年度までの実施状況と、今後の計画を追記しました

一主な取組事例一

雨天時の情報提供

各霞堤地区に、**CCTVカメラ・簡易水位計・回転灯・案内看板**を整備しました。CCTVカメラおよび簡易水位計の情報は、「**霞堤地区防災情報ポータル**」等でリアルタイムに発信しています。



▲霞堤地区防災情報ポータル

平常時の情報提供

要望があった小学校等で**出前講座**を行っています。また、昭和44年8月洪水の記憶を語り継いでいくための「**豊川洪水記録誌(～昭和44年8月5日～)**」を作成しました。



▲豊川洪水記録誌

樋管の設置

賀茂地区では、小堤の設置に先行し、霞堤地区内の河川や排水路の水を排水するため**樋管の設置が完了**しました(令和6年12月完成)。他の地区でも整備を進めていきます。



▲完成した賀茂樋管(令和6年12月撮影)

浸水被害軽減対策計画の改訂に向けた今後の予定

R7.1月 R6年度 霞堤地区浸水被害軽減対策協議会
・改訂のポイント
・今後の予定

R7.3月末 霞堤地区浸水被害軽減対策計画 改定(案)作成

R7.5～6月 霞堤地区浸水被害軽減対策協議会 作業部会

- ・改定(案)に対する意見聴取
- ・地元説明会に向け必要に応じ改訂(案)を修正

R7.7～8月 霞堤地区浸水被害軽減対策協議会 地元説明会
・改定(案)に対する意見聴取

R7.11月末 霞堤地区浸水被害軽減対策計画 改訂(最終案)
の作成

R7.12月 R7年度 霞堤地区浸水被害軽減対策協議会
・改訂(最終案)の審議、策定

R7.12月 霞堤地区浸水被害軽減対策計画 改訂版のHP公開



浸水被害に対する補償・支援の勉強会の開催報告

◆ 下記、地元からの補償支援に係る意見への対応を話し合うため関係機関との間で勉強会を開催した。

- ・国の治水対策の遅れで霞地区が長年、危険にさらされているので家屋浸水被害、農作物被害など浸水被害に対する補償、支援をしてほしい。
- ・災害ゴミの処分などに対する支援もしてほしい。

(1)補償・支援への意見への対応について

①豊川市との打ち合わせ R6.7.4

- ・豊川市と豊橋河川事務所において補償支援に係る意見に対して打合わせの場を設け、現行の被災者支援制度の内容、相談窓口等を整理した。
- ・参加機関・・・豊川市(道路河川管理課、危機管理課、行政課、地域福祉課、農務課、商工観光課、清掃事業課)、豊橋河川事務所

②補償支援勉強会について R7.1.15

- ・市、県(農水)、国で勉強会を開催し、問題点などを共有するとともにどんなことが可能かについて話し合いをおこなった。
- ・参加機関・・・豊川市(道路河川管理課、危機管理課、行政課、地域福祉課、農務課、商工観光課、清掃事業課)、豊橋市河川課(オブザーバー)、東三河農林水産事務所、豊橋河川事務所
- ・結論・・・小堤整備途上および整備後の浸水による農作物等被害に対して霞に特化した補償支援はむずかしい。保険に入って災害に備えていただくことが基本であるため、国が定めている公的な保険制度である収入保険への加入を再度、促す。

霞堤地区防災情報ポータル改修(案)

参考-3

- 霞堤地区防災情報ポータルに、①浸水開始水位と県道規制区間を整理したPDFと、道路情報サイトへのリンクを追加し、出水時における霞堤地区内やその周辺の通行規制区間や通行規制実施状況を確認しやすくすることで、周辺住民などの避難時等における通行ルートの検討を支援します。

改修イメージ

※レイアウトは検討中です

ページ > 地区選択画面 > 金沢地区の情報一覧 > 金沢地区防災情報

金沢霞堤地区 防災情報ポータル

ナウキャスト（雨雲の動き）

河川水位

霞堤内水位

追加

浸水開始水位と規制区間.pdf - Adobe Acrobat Pro (64-bit)

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 電子サイン ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ホーム ツール 浸水開始水位と規... x

1 / 2 25%

浸水開始水位

県道通行止め規制区間

※PDF資料はイメージです

浸水開始水位と県道規制区間を整理したPDFを表示

国土交通省「道路情報提供システム」を表示

日本道路交通情報センター「道路交通情報」を表示

※上記はイメージであり、今後の検討により変更となる可能性があります。

霞堤地区を対象とした浸水シミュレーションの概要

令和7年1月22日

中部地方整備局 豊橋河川事務所

1. 内外水一体型浸水解析モデルの概要

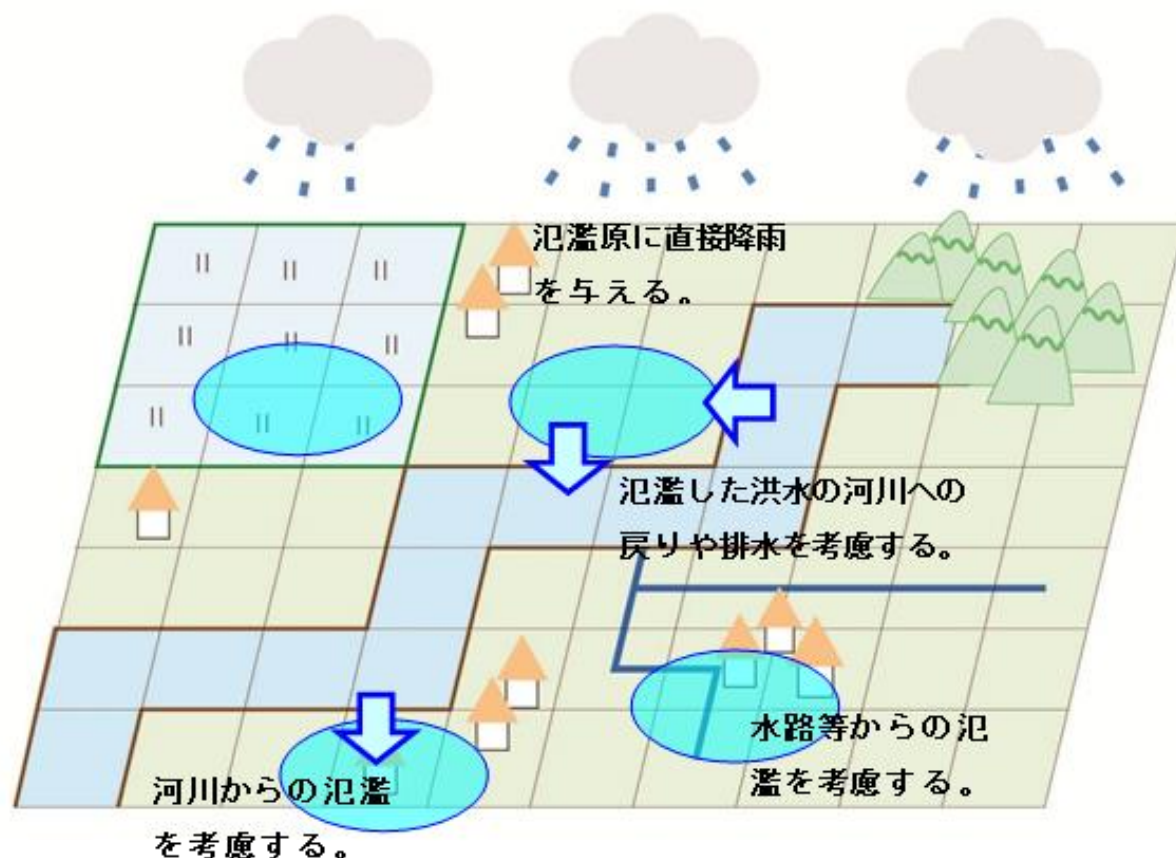
- 内外水一体型浸水解析モデルを構築し、霞堤地区に小堤を設置した際に想定される内水の影響を内水解析により検討します。
- 内外水一体型浸水解析モデルでは、霞堤地区内の排水施設の効果を表現します。

内外水一体型浸水解析モデルの概要

- ◆ 流出解析
 - 流出域: 集中型モデル
(貯留関数モデル、合理式モデル)
 - 内水氾濫域: 分布型流出モデル
(流出係数モデル)
- ◆ 氾濫解析
 - 二次元不定流モデル(25mメッシュ)
- ◆ 河道解析
 - 準二次元不定流モデル

霞堤地区内の排水施設をモデル化

- ◆ 排水施設の効果を表現するため、樋門や樋管・排水路等をモデル化し、以下のような操作を表現します。
 - ① 霞堤地区に降った雨は、地盤高の低い場所を流れて排水路に集まります。
 - ② 豊川の水位が低い場合は、樋門や樋管から排水されます。
 - ③ 豊川の水位が高い場合、樋門や樋管は閉じているため、排水されず、雨が霞堤地区に溜まることになります。



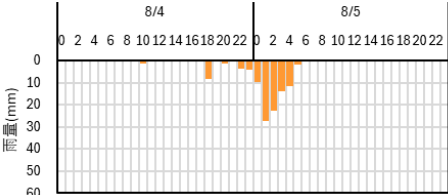
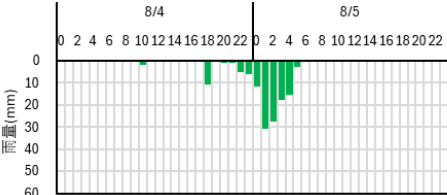
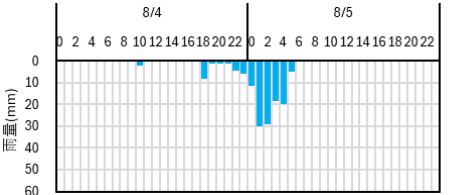
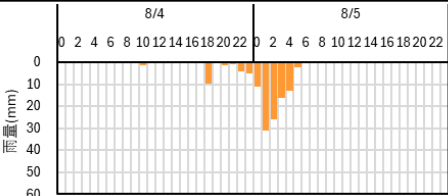
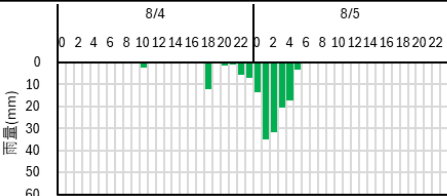
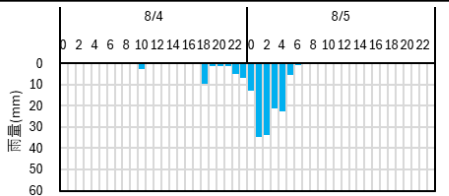
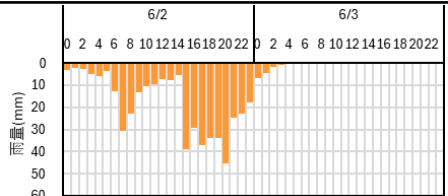
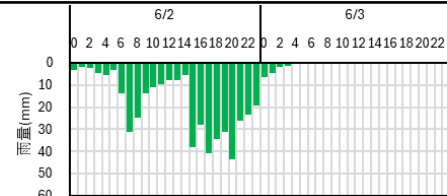
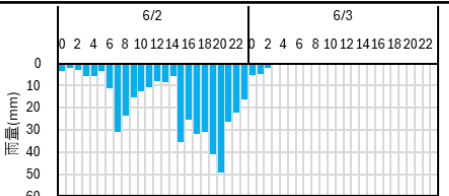
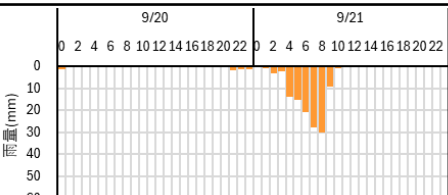
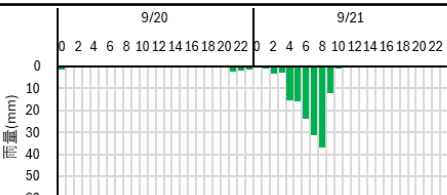
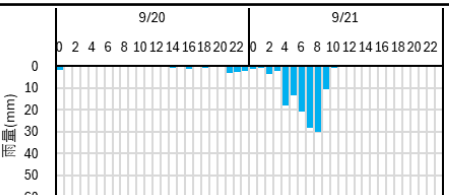
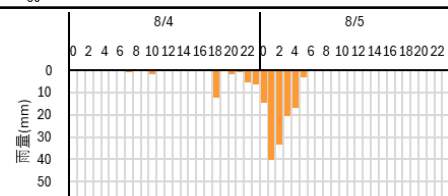
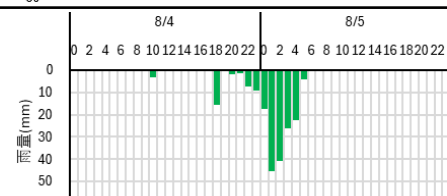
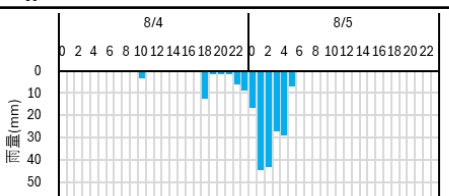
2. 浸水解析モデルの解析条件

解析条件		条件内容
外力条件	対象洪水	S44.8洪水(1/5確率規模)、S44.8洪水(1/10確率規模)、R5.6洪水(実績)、H23.9洪水(実績)、S44.8洪水(実績)
	上流端流量	対象洪水の石田地点の流出計算結果(設楽ダムあり) (石田地点の実績流量を再現できる流出計算モデル)
	支川流量	対象洪水の石田地点の流出計算結果(設楽ダムあり) (石田地点の実績流量を再現できる流出計算モデル)
河道モデル	計算対象河道	豊川 : 0.0k~27.6k 放水路: 0.0k~6.6k 支川 : 朝倉川、神田川、間川
	河道条件	豊川 : 整備計画河道(H27測量) 放水路: 現況河道(H27測量) 支川 : 現況河道(愛知県浸水想定区域図作成時河道データ)
	粗度係数	豊川 : 計画粗度係数 ※ただし、R5.6洪水、H23.9洪水は実績再現に用いた粗度係数 放水路: 計画粗度係数 支川 : 県管理区間の現況粗度係数(0.030)
	放水路分派率	計画分派比 本川:放水路=6:4
	河道水位計算方法	準二次元不定流計算
	小堤	H23.9洪水対応小堤(牛川霞は暫定堤)
氾濫原	氾濫原のメッシュ	25mメッシュ(緯度経度メッシュ)
	氾濫原の地盤高	既存浸水想定区域図の作成モデルの25mメッシュ地盤高(直交メッシュ)から作成した地盤高
	樋門樋管	豊橋市提供資料より排水区を設定し、流末の排水能力によって面排水を実施

2. 浸水解析モデルの解析条件

○ シミュレーションでは、下記の5つ雨を対象に解析します。

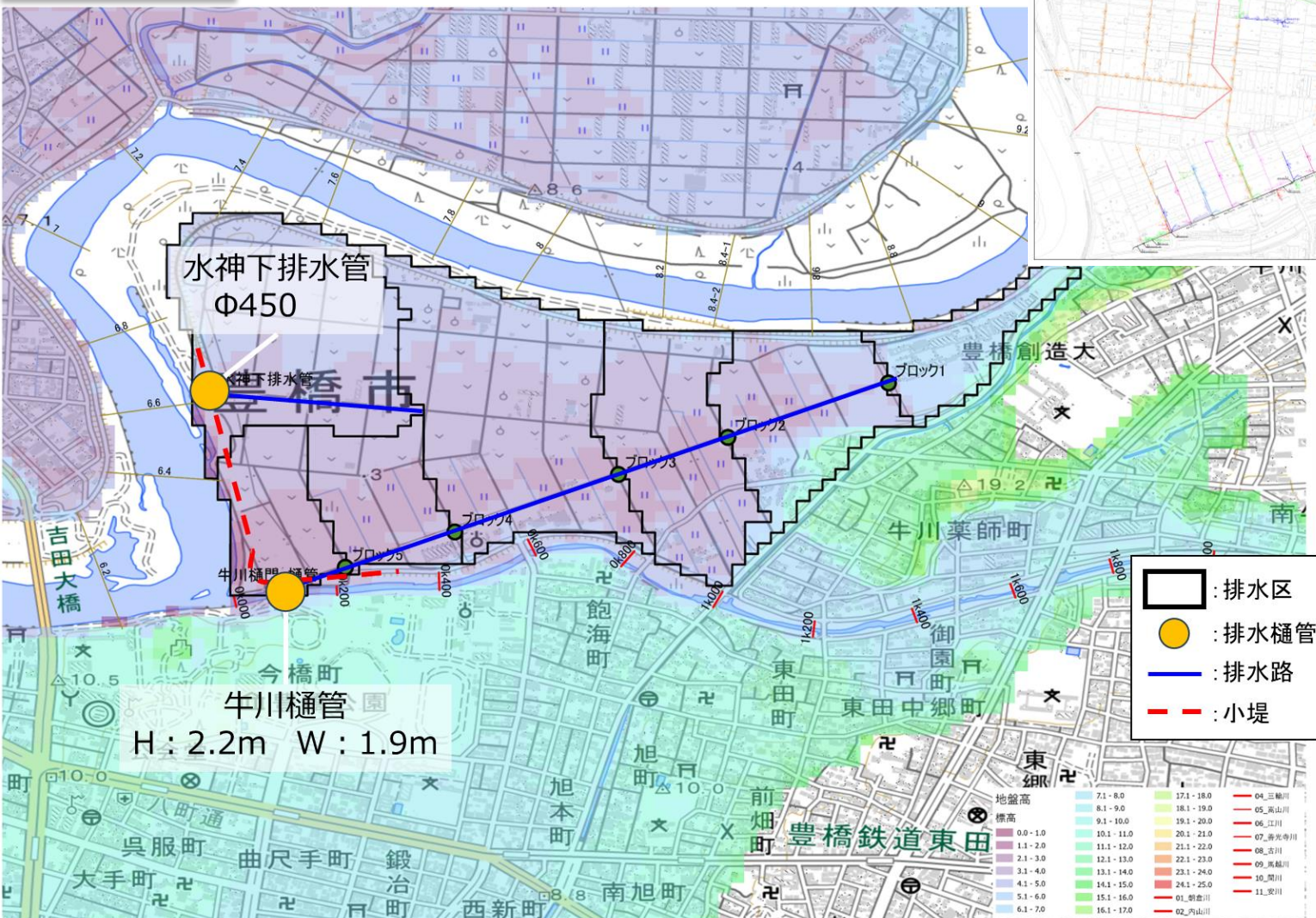
S44.8洪水(1/5確率規模)、S44.8洪水(1/10確率規模)、R5.6洪水(実績)、H23.9洪水(実績)、S44.8洪水(実績)

対象洪水	雨量 (牛川霞堤地区)	雨量 (下条霞堤地区)	雨量 (賀茂・金沢霞堤地区)
S44年8月洪水 1/5確率規模			
S44年8月洪水 1/10確率規模			
R5年6月洪水 実績			
H23年9月洪水 実績			
S44年8月洪水 実績			

3. 浸水解析モデルの構築

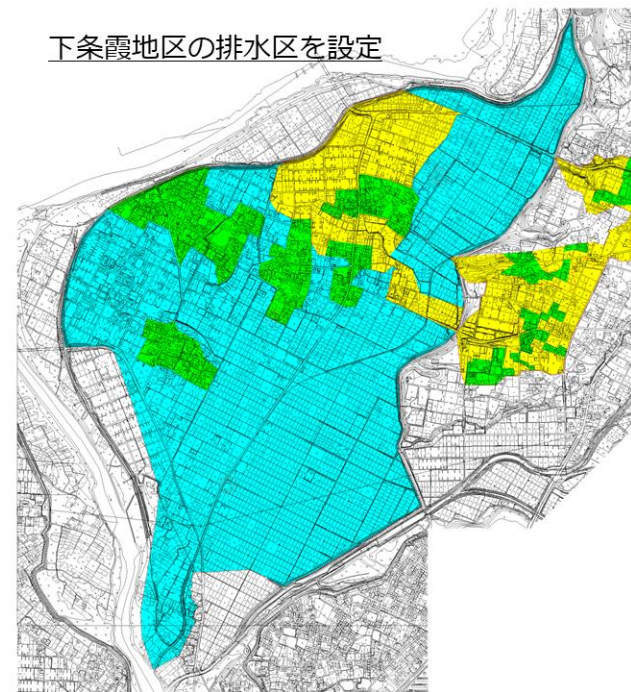
- 霞堤地区の地盤高をモデル化し、また、国・県・市提供資料で樋門や樋管等の排水施設を設定しました。
- 豊川本川の水位を計算し、同時に霞堤地区に雨を降らせ、内水氾濫を計算します。

牛川霞堤地区



 国土交通省中部地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Chubu Regional Development Bureau

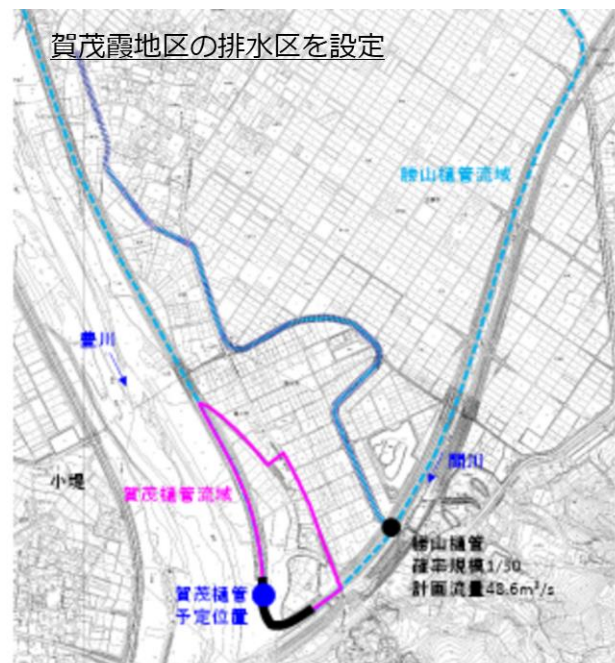
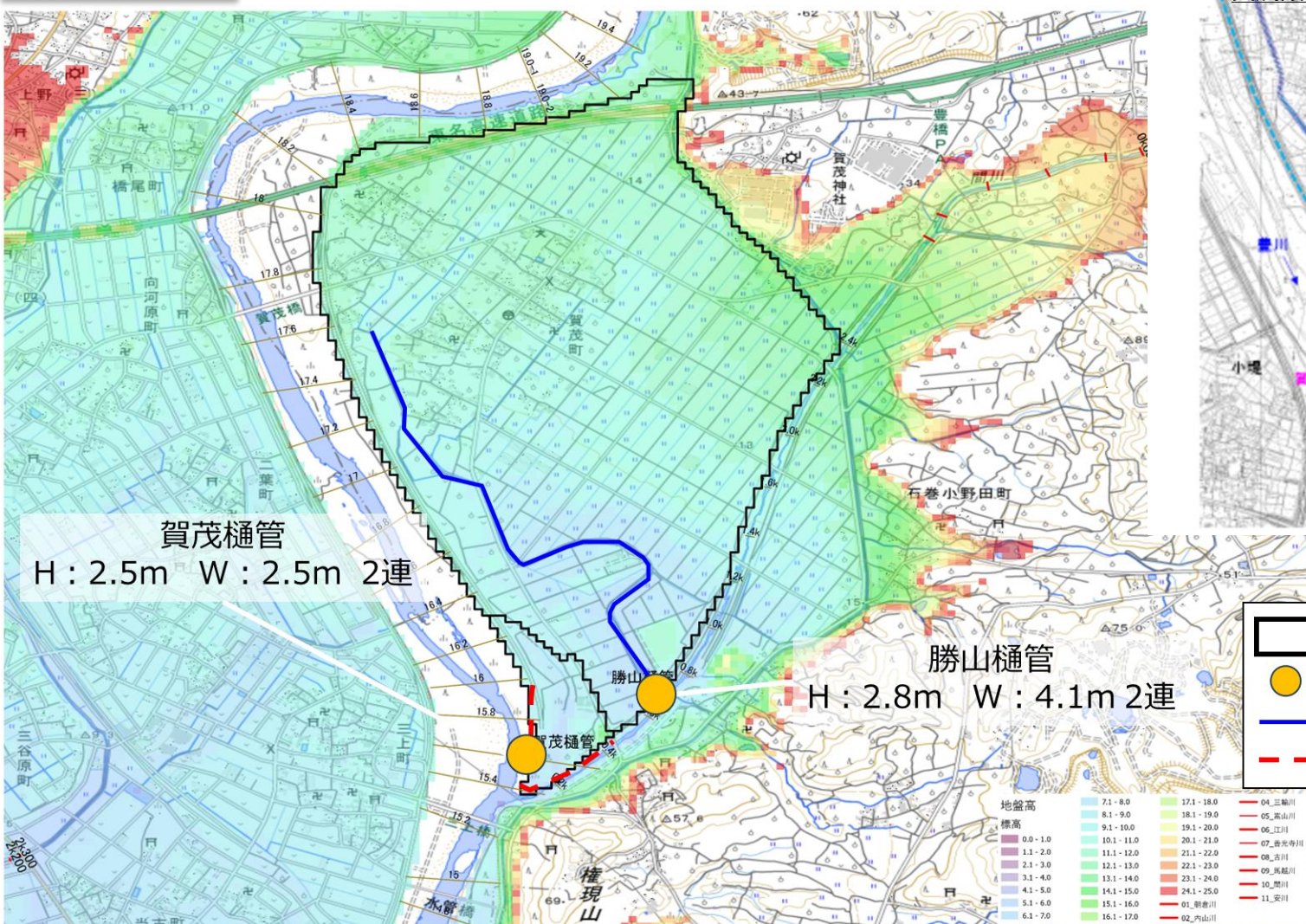
- ## 下条霞堤地区



3. 浸水解析モデルの構築

- 霞堤地区の地盤高をモデル化し、また、国・県・市提供資料で樋門や樋管等の排水施設を設定しました。
- 豊川本川の水位を計算し、同時に霞堤地区に雨を降らせ、内水氾濫を計算します。

賀茂霞堤地区

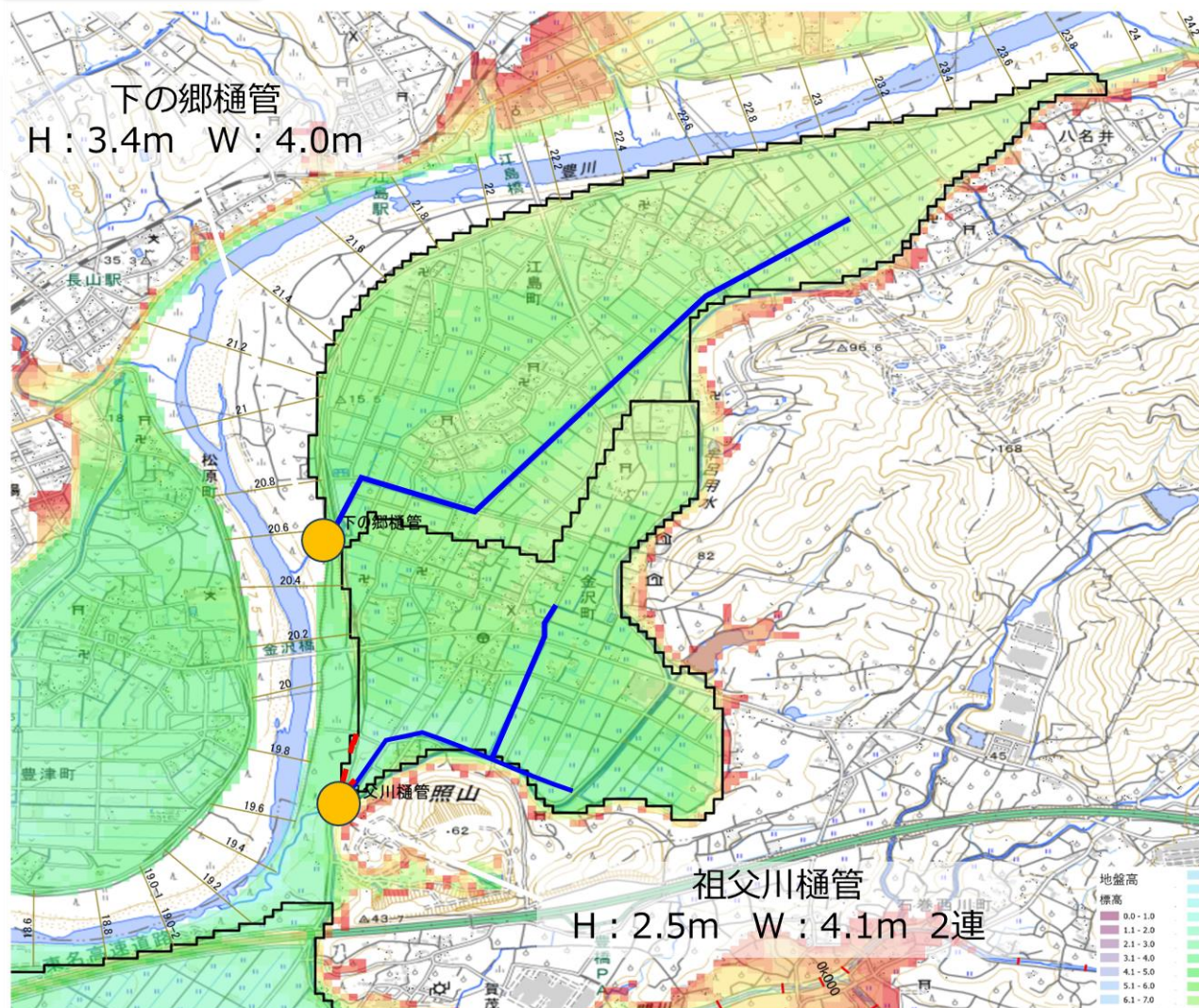


- 排水区
- 排水樋管
- 排水路
- 小堤

3. 浸水解析モデルの構築

- 霞堤地区の地盤高をモデル化し、また、国・県・市提供資料で樋門や樋管等の排水施設を設定しました。
- 豊川本川の水位を計算し、同時に霞堤地区に雨を降らせ、内水氾濫を計算します。

金沢霞堤地区



安城市における水田貯留事業の取組

～「あめの恵みを活かす安城」を目指して～



安城市マスコットキャラクター
「サルビー」



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

水田貯留事業のきっかけ

本市では、平成12年の東海豪雨を契機として調整池の整備に力を注いできましたが、平成20年8月末豪雨でも浸水被害が発生し、**行政による雨水対策の限界を痛感**しました。また、都市化の進展に伴い多くの農地が開発され、雨水が一気に流出するようになったことが水害のリスクを高める要因になっていることも指摘されていきました。

▼近年の代表的な浸水被害

時期・豪雨名称	総雨量 (mm)	時間最大雨量 (mm/hr)	床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)
平成12年 東海豪雨	342	57	42	159
平成20年8月末豪雨	226	77	15	72

平成22年度に**安城市雨水マスタープランを策定**し、理念として**「あめの恵みを活かす安城」**を掲げ、**「市民、事業者及び行政が協働して、あまみずを水資源として捉え、さらに防災の視点を取り入れた雨水対策を推進する。」**という基本方針に沿った各種施策として、農地などの雨水が浸み込む土地の保全や水田貯留の推進を掲げました。



第2次安城市雨水マスタープラン
- みんなに知ってほしい安城市の雨水対策 -
2021年度(令和3年度) → 2030年度(令和12年度)



RAINWATER MASTER PLAN

安城市
2021年(令和3年)3月

▲安城市雨水マスタープランの表紙



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

これまでの取組状況

候補地の選定

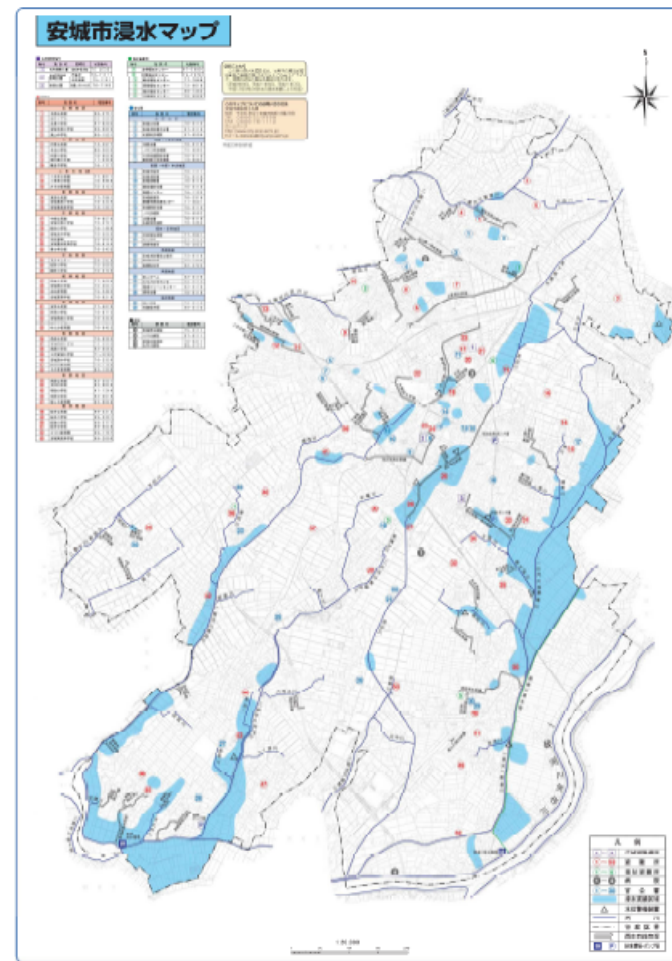
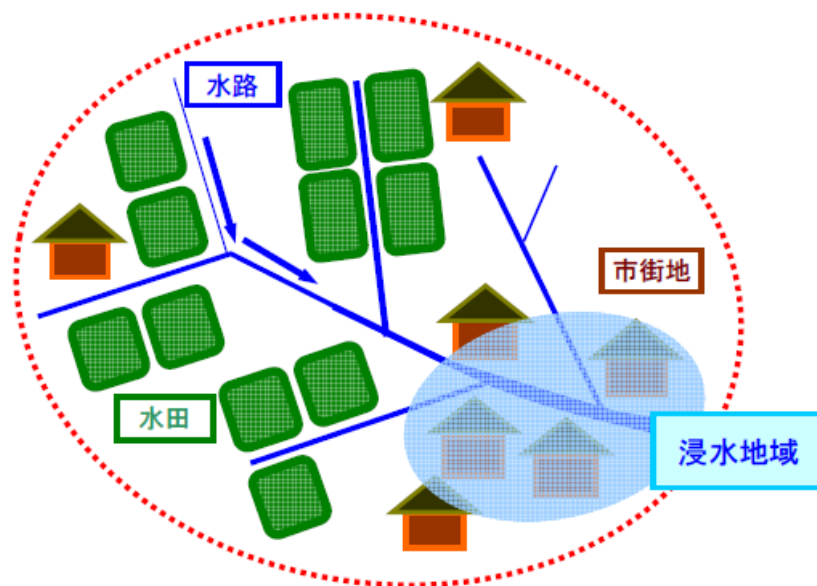
調査・設計

関係者の同意

施工

施設の運用

東海豪雨などによる市内の浸水実績区域を表した「安城市浸水マップ」を確認し、過去に浸水被害のあった市街地の上流における農地を水田貯留の候補地として選定します。



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

これまでの取組状況

候補地の選定

調査・設計

関係者の同意

施工

施設の運用

水田貯留の方式としては、雨水を水路と隣接する多くの水田で同時に貯める「水路流量調整方式」と個々の水田で貯める「排水マス流量調整方式」があり、現場の地形、排水系統、耕作の状況などを調査した上で、現場条件に適した方式を検討します。また、水稻への被害が生じないように、**通常の湛水より余分に貯める最大水深は5 cm程度**として施設の設計を行います。



▲水路流量調整方式の外観



▲排水マス流量調整方式の外観



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

これまでの取組状況

候補地の選定

調査・設計

関係者の同意

施工

施設の運用

水田貯留の候補地における地元町内会を始め、地権者・耕作者に対して水田貯留事業の内容を説明し、ご協力いただける方から同意書をご提出いただきます。近年では、**地域の主たる耕作者（営農）との強い協力関係を築き上げる**ことで、ものすごい勢いで事業区域が拡大してきています。



▲関係者に対する説明会の様子



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

これまでの取組状況

候補地の選定

調査・設計

関係者の同意

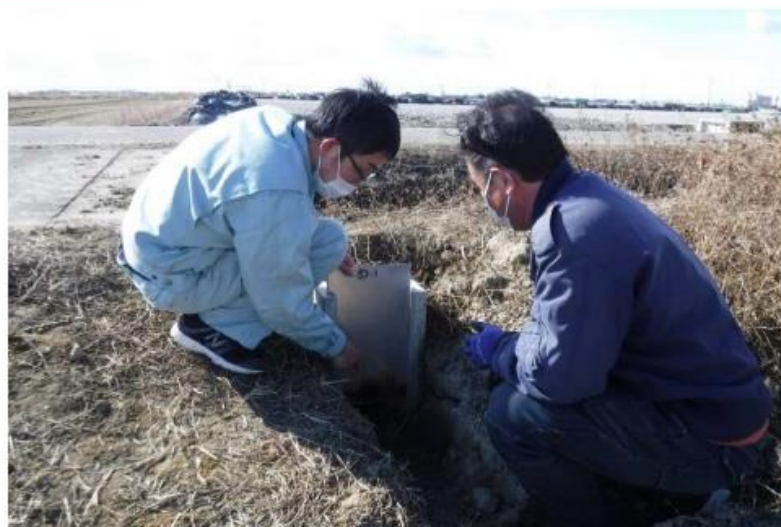
施工

施設の運用

これまでに約113haで水田貯留施設を整備し、転作の影響を考慮した年間の最大貯留容量は約3万3千m³に上ります。なお、排水マス流量調整方式を採用した場所では、耕作者に田んぼダム装置の使用方を説明し、以後の管理をお願いしています。

▼施工実績（令和5年度末時点）

竣工年度	流域	方式	整備面積(ha)
H22	堀内川	水路	4.08
H22	堀内川	水路	2.45
H24	志茂川	水路	4.00
H25	志茂川	水路	1.93
H28	西鹿乗川	水路	1.37
H28	西町雨水幹線	水路	1.69
H30	堀内川	排水マス	1.84
R1	堀内川・溝川	排水マス	5.07
R2	追田川	排水マス	9.86
R3	堀内川・追田川	排水マス	22.17
R4	堀内川・追田川・西鹿乗川	排水マス	24.30
R5	堀内川・松下用悪水路 西鹿乗川・大山田第一雨水幹線	排水マス	33.79
計			112.55



▲耕作者に対する説明の様子



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

これまでの取組状況

候補地の選定

調査・設計

関係者の同意

施工

施設の運用

水稻を耕作する時期は、市職員が調整マスのゲートを所定の高さまで閉めるとともに、耕作者が排水マスに田んぼダム装置を設置し、水田貯留を実施します。



▲水路流量調整方式による水田貯留の様子（左：平常時、右：大雨時）



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

これまでの取組状況

候補地の選定

調査・設計

関係者の同意

施工

施設の運用

水田貯留の実施期間中は、地元町内会との協定に基づき、**毎月、市民が調整マスの清掃などを行い、施設の機能維持**に努めています。



▲市民による維持管理の様子



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

これまでの取組状況



安城市

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

候補地の選定

調査・設計

関係者の同意

施工

施設の運用

転作する時期は、水を貯められないため、市職員が調整マスのゲートを全開にするとともに、耕作者が田んぼダム装置を排水管が見える程度の高さまで上げます。なお、**本市が採用する田んぼダム装置は、耕作者が持ち帰る手間を省くことができる**優れものであり、耕作者の意見を聴きながら、より簡単に操作できるよう構造の改良を重ねています。



▲転作時における施設の状況



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

11月19日(火)は…

愛知と安城を味わう学校給食の日



「愛知と安城を味わう学校給食の日」とは、学校給食で地場産物を使用することで、地域の食べ物を知り、より豊かな食生活を送ったり、生産者への感謝の気持ちを育んだりすることを目的として設定された日です。そこで、19日(火)の「ごはん」には、安城市で積極的に行われている水田貯留(田んぼダム)の田んぼで収穫されたお米を使用しています。



『水田貯留(田んぼダム)』って何？

水田貯留(田んぼダム)とは……

みんなの住んでいる町を守る仕組みです。

大雨が降った時に……

川が氾濫して洪水が
起こるのを

田んぼが
守る!!



どうして、田んぼで町を守ることができるの？

田んぼには、いろいろな機能があり、その中の一つに水をためる機能があるからです。



町を守っている田んぼは、普通の田んぼと何が違うの？

実は、**排水マス**(田んぼから用水路に水を流す場所)に**秘密**が!!
排水マスに専用の**せき板**を入れることで、
少しずつ水を流し、田んぼに水をためるようにしています。



◎◎ 注目ポイント!!

専用のせき板は、
水を流す穴が小さくなっているよ!



↑何もしていない排水マス

※味は、普通の田んぼのお米と変わらず、水田貯留の田んぼ作ったお米もおいしいです。



誰がやっているの？

農家さん、市の職員さん、JAの職員さん、
みんなで協力して行っています。



いろいろな人が
協力して町を
守っているんだね!



PICK UP!! 町を守っているヒーローの一人をご紹介します!!
新田町の米農家 神谷さん



19日(火)の「ごはん」は、神谷さんが育てたお米を使用します。

水田貯留の田んぼで、おいしいお米を
作っています。
ぜひ、わたしが育てたお米をみんなで
食べてください。

神谷さんへのインタビュー
動画はこちら ↓

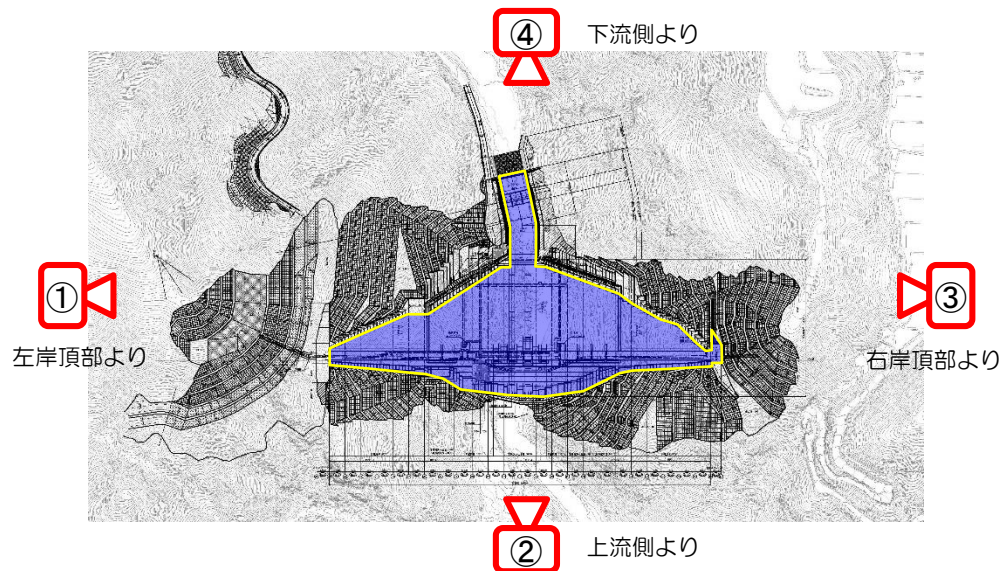


設楽ダム建設事業について

中部地方整備局
設楽ダム工事事務所
令和6年12月23日

ダム本体の工事進捗状況（令和6年11月下旬）

設楽ダム平面図



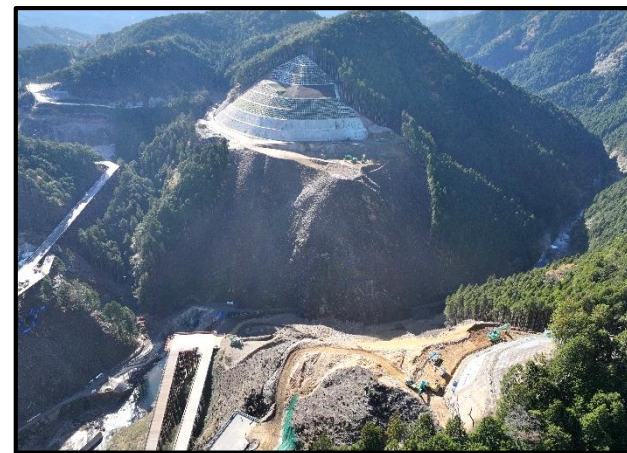
④ 下流側より



① 左岸頂部より

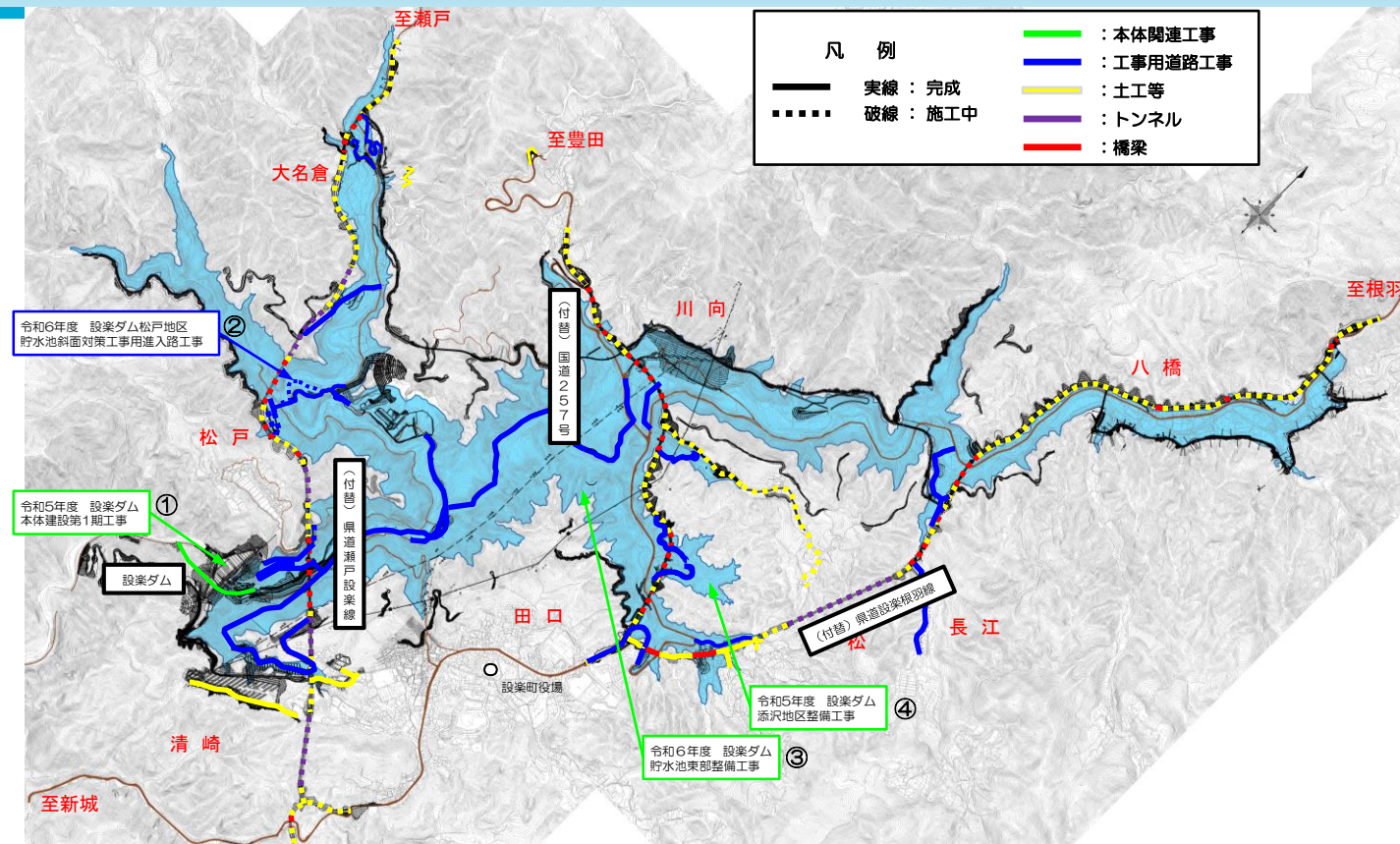


② 上流側より



③ 右岸頂部より

ダム本体関連の工事進捗状況（令和6年11月下旬）



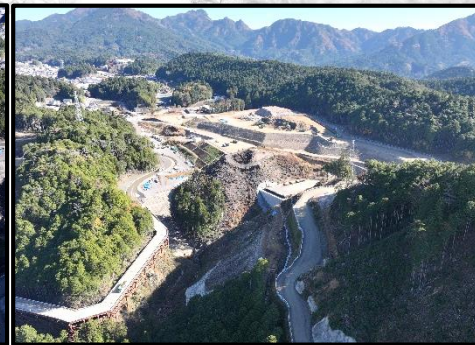
④添沢地区整備(大畑工区)



③貯水池東部整備(田口工区)



本体関連全景(その1)



本体関連全景(その2)

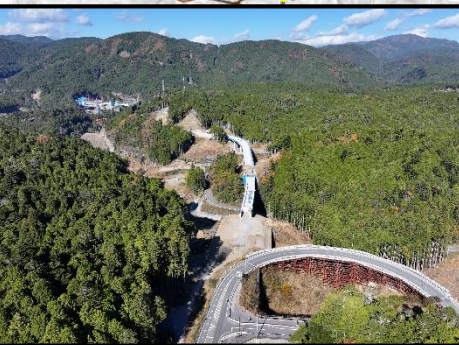
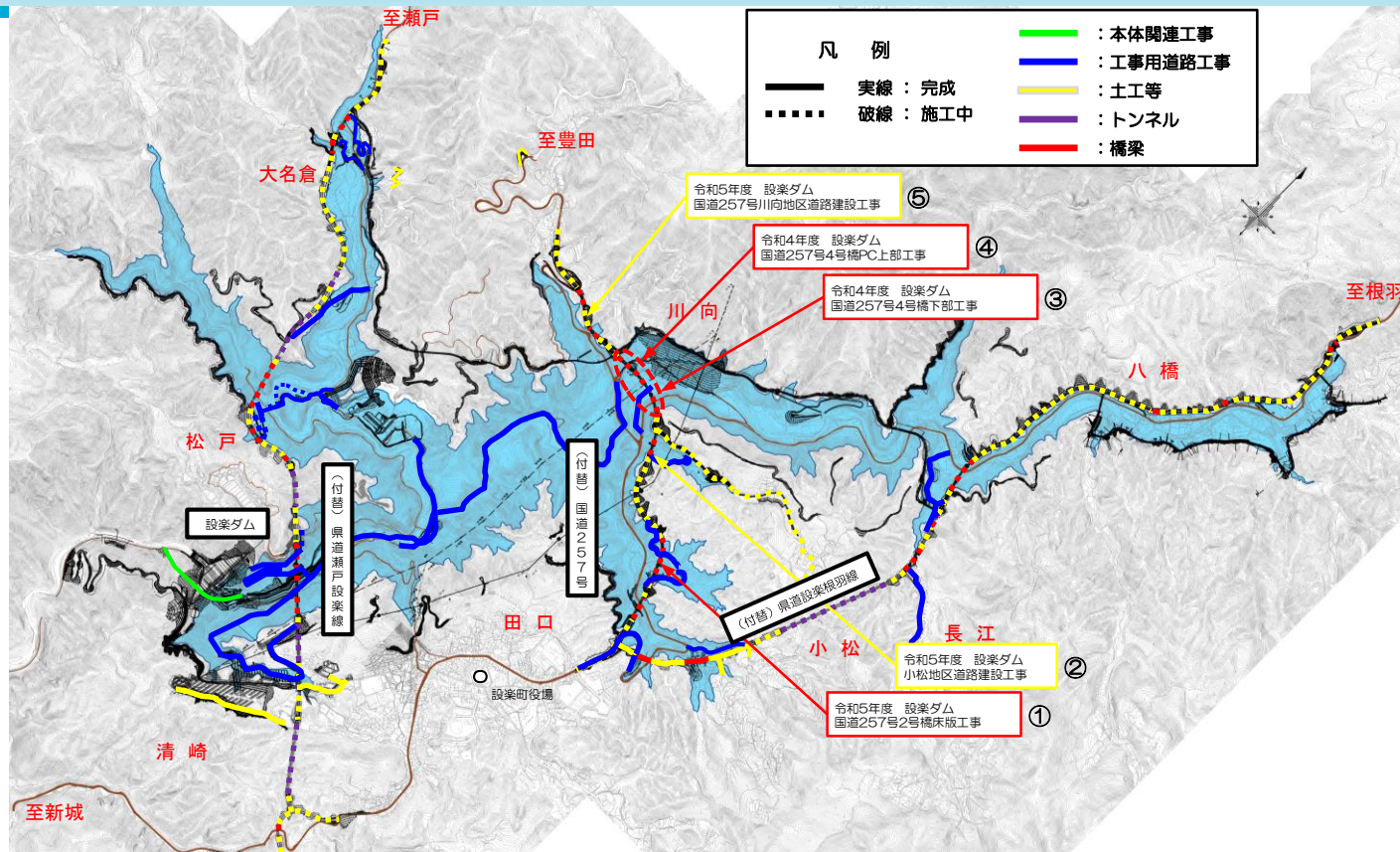


①本体建設第1期(上流側より)



②松戸地区貯水池斜面对策工事用進入路

付替国道257号の工事進捗状況 1/2 (令和6年11月下旬)



257号起点から設楽大橋



257号設楽大橋から終点

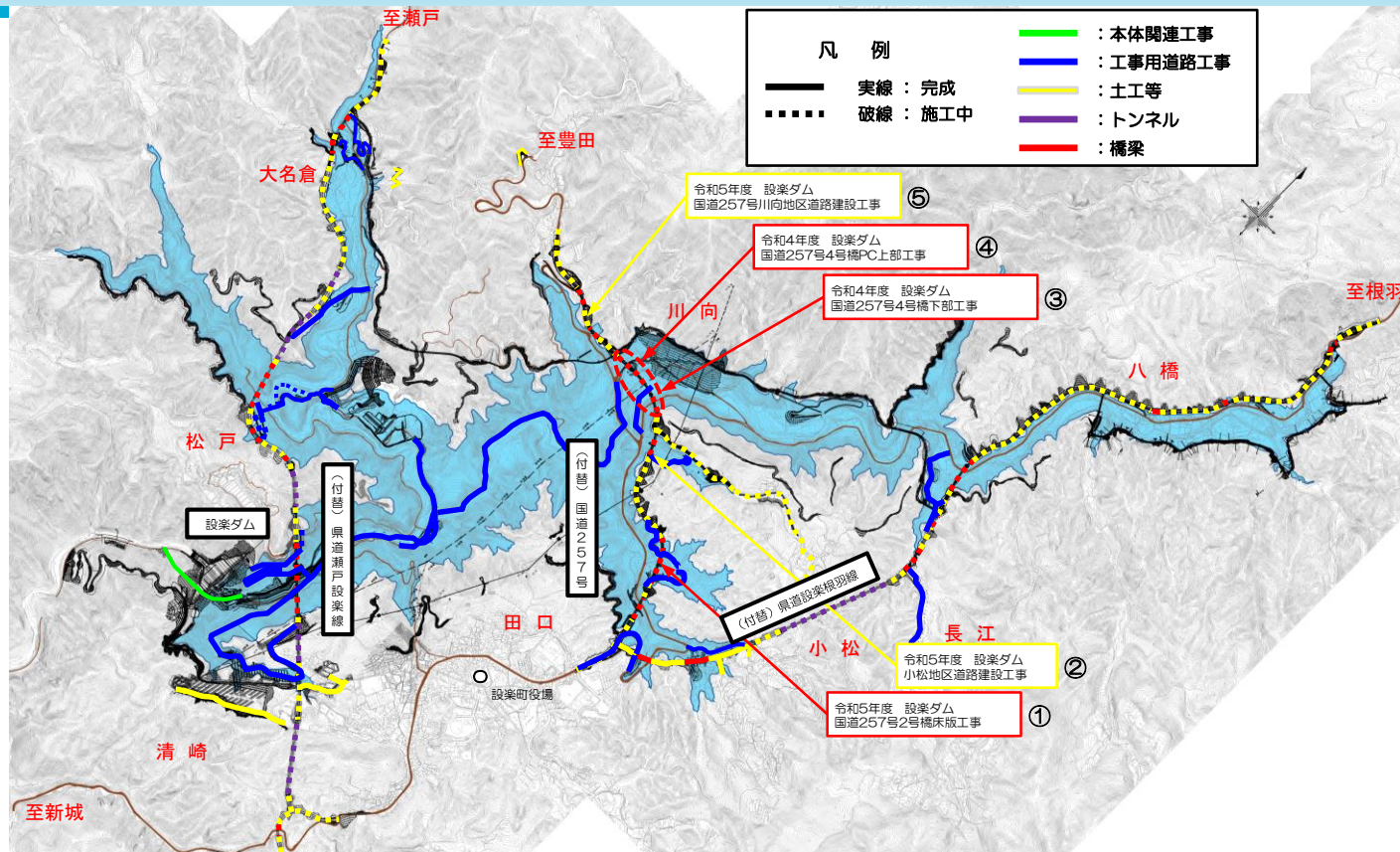


①2号橋床版工



②小松地区道路建設

付替国道257号の工事進捗状況 2/2 (令和6年11月下旬)



③4号橋下部工A1橋台



③4号橋下部工A2橋台

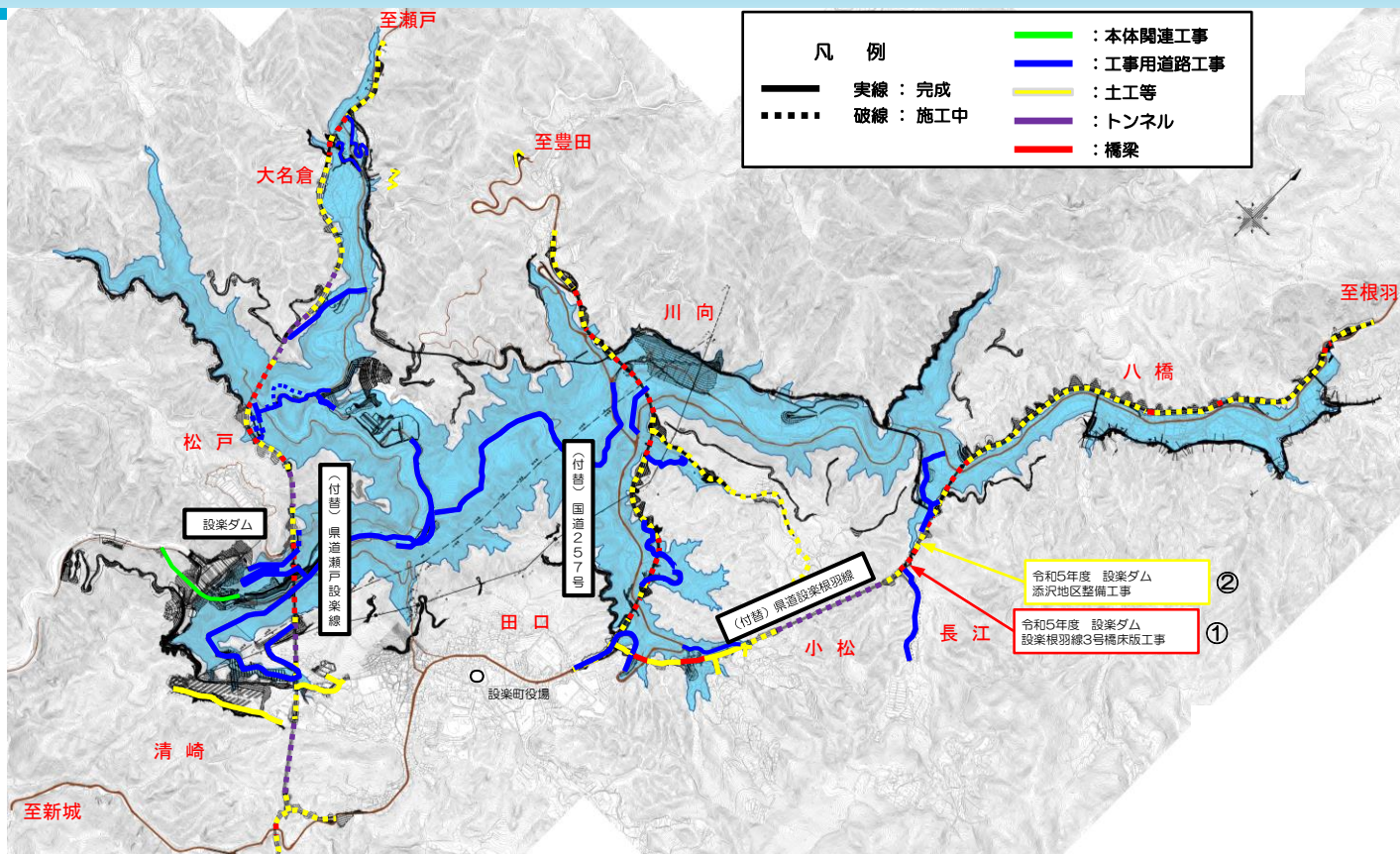


④4号橋PC上部工

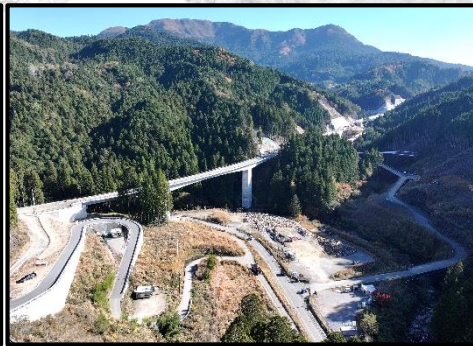


⑤川向地区道路建設

付替県道設楽根羽線の工事進捗状況 (令和6年11月下旬)



設楽根羽線起点から1号トンネル



設楽根羽線5号橋から1号トンネル

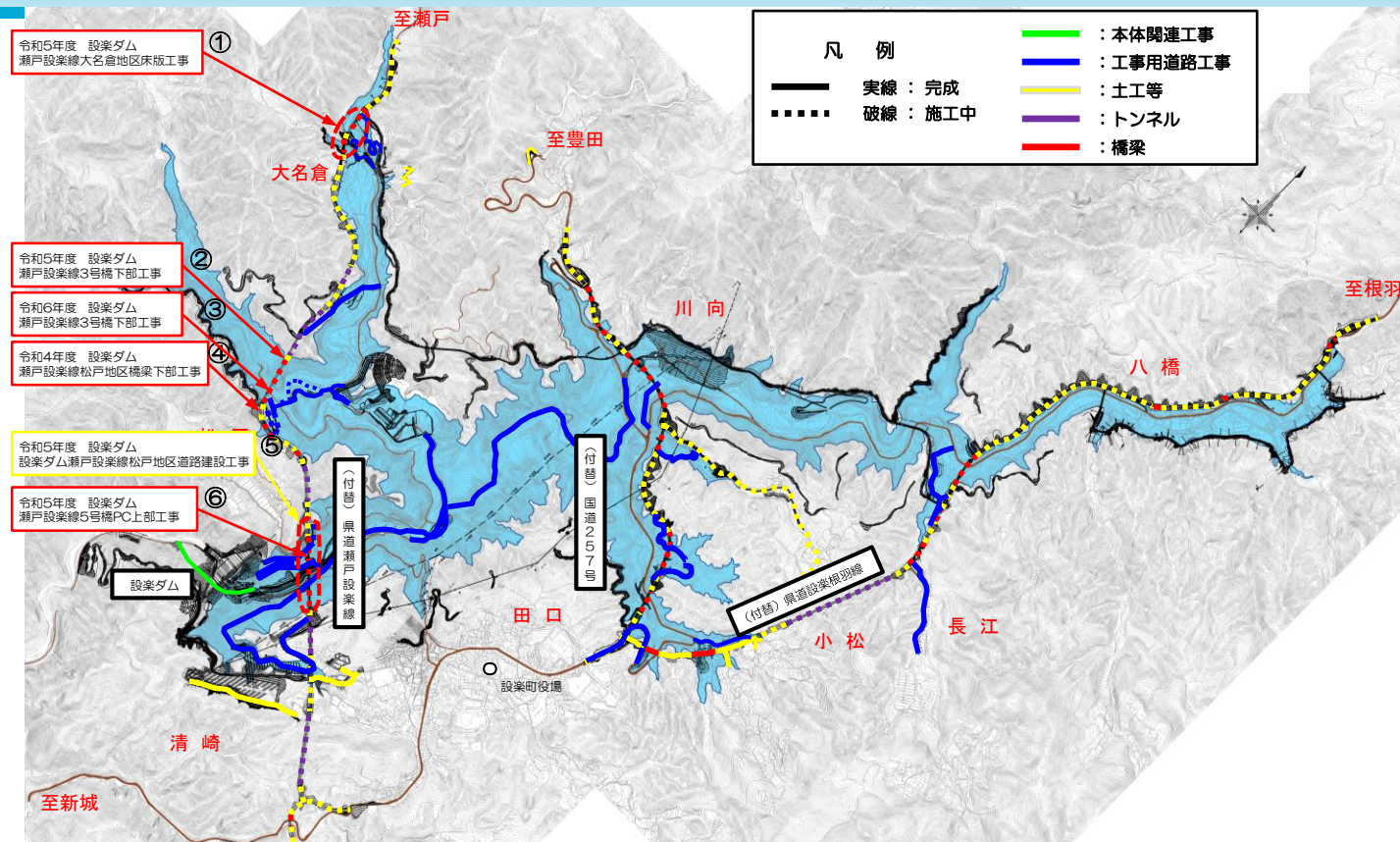


①3号橋床版工



②添沢地区整備(長江地区)

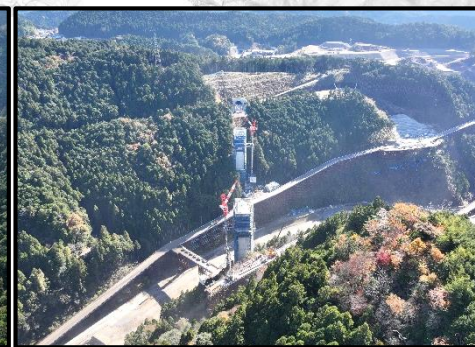
付替県道瀬戸設楽線の工事進捗状況 1/2 (令和6年11月下旬)



②R5・3号橋下部工



瀬戸設楽線1号橋から1号トンネル



瀬戸設楽線5号橋から5号トンネル

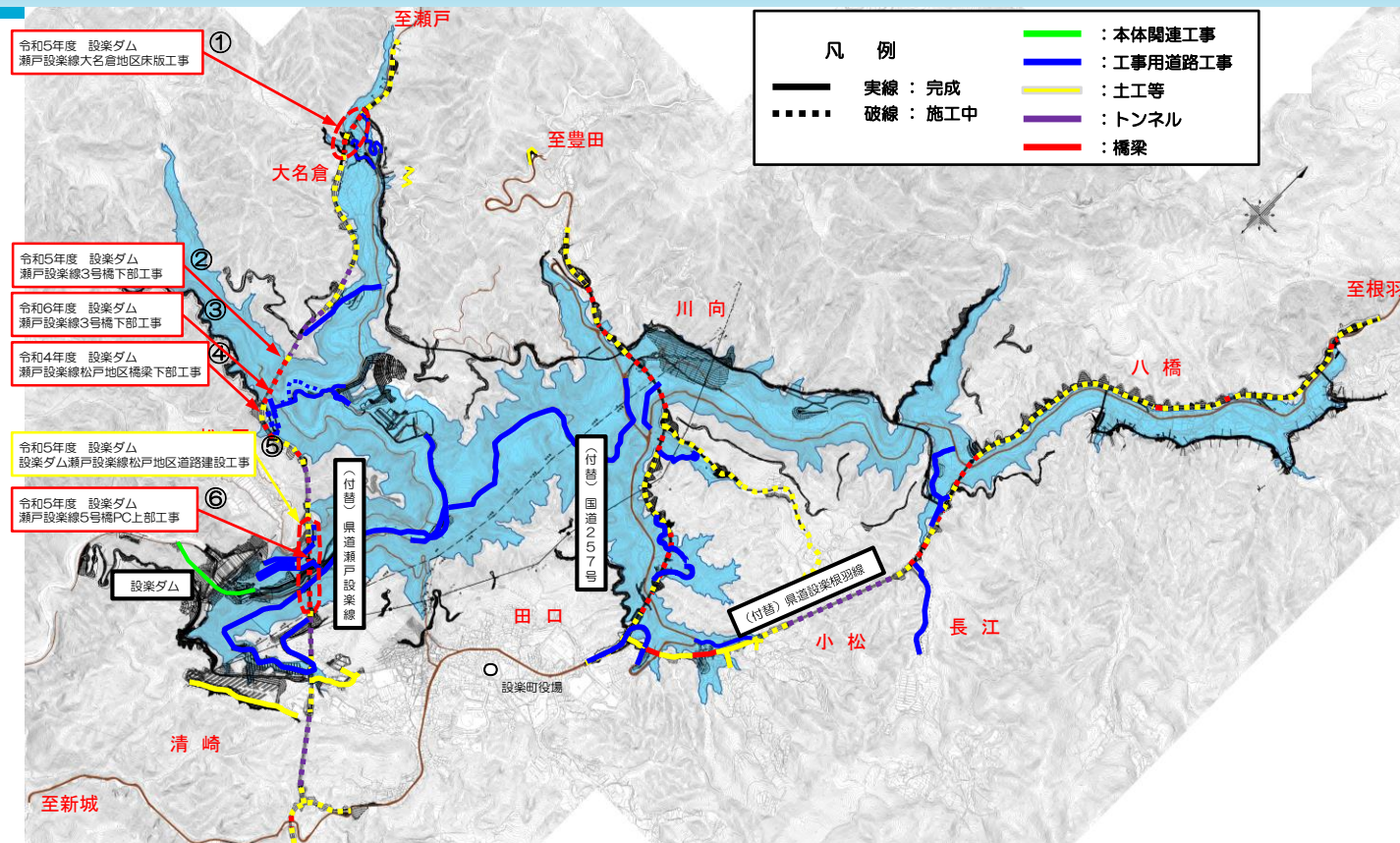


5号トンネルから国道257号



①大名倉地区床版工 (1号橋から2号橋)

付替県道瀬戸設楽線の工事進捗状況 2/2 (令和6年11月下旬)



③R6・3号橋下部工



④松戸地区橋梁下部工



⑤松戸地区道路建設



⑥5号橋PC上部工

ダム本体関係工事工程について

工事内容	作業時間(予定)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度
		別工事	本体工事現場着手(R6.2)										
① 本体掘削	昼施工(1班)	左岸頂部掘削											
② 掘削土運搬	昼施工(1班):清崎地区 昼夜施工(2班):川向地区	清崎地区	清崎地区、川向地区への運搬										
③ プラント整備 (骨材製造、Co製造)	昼施工(1班)												
④ 本体コンクリート打設	昼夜施工(2班)												
⑤ 基礎処理工 (岩盤の止水対策)	昼夜施工(2班)												
⑥ 利水放流設備等設置 (利水放流管、選択取水設備等)	昼夜施工(2班)												
⑦ 試験湛水													

工事状況の写真(関東地整:湯西川ダム等の事例)

掘削



掘削(土砂、岩)



岩盤清掃(河床部)



岩盤検査の様子



掘削完了時の全景

コンクリート打設関係



骨材製造(骨材採取)



コンクリート製造プラント



コンクリート打設(夜)

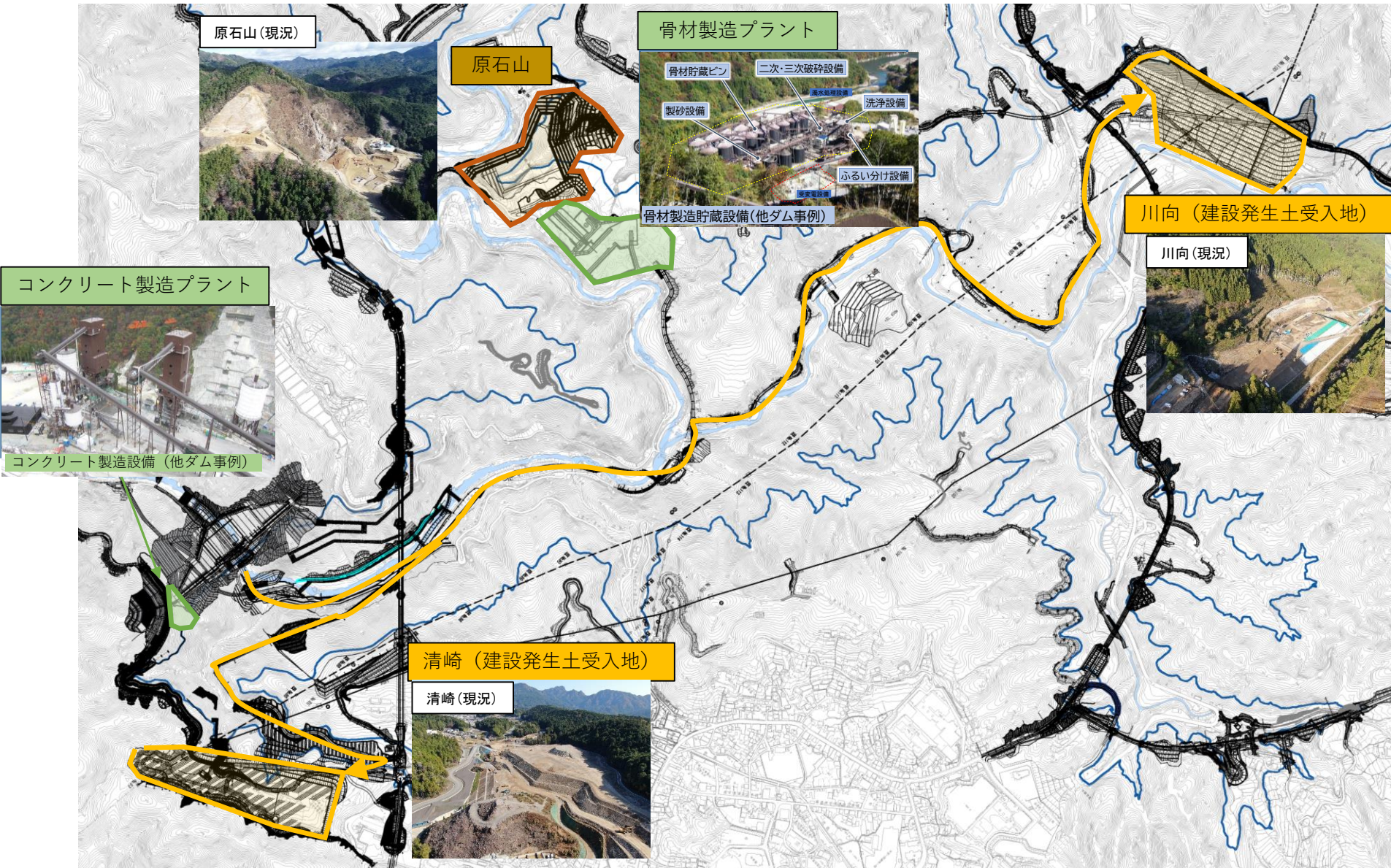


基礎処理工(グラウチング)



選択取水設備設置

本体工事関係平面図

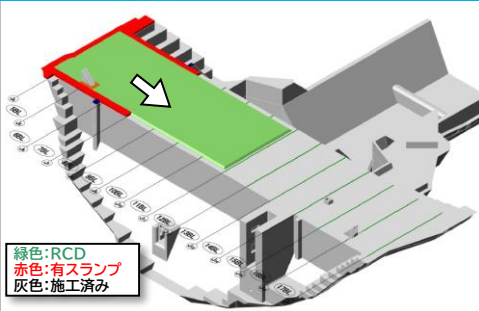


本体コンクリート打設（RCD工法）

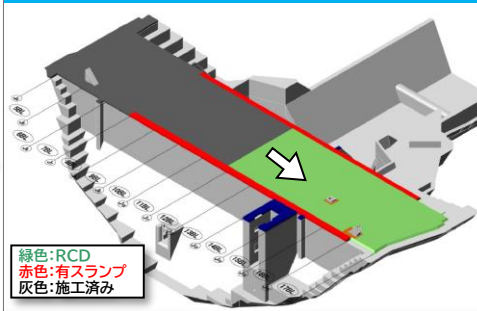
- 設楽ダムでは、重力式コンクリートダムの合理化施工法として開発されたRCD 工法（Roller Compacted Dam-concrete Method）を採用します。
- 本工法は、超硬練りコンクリートをダンプトラックで運搬し、ブルドーザで撒きだし、振動ローラにより締固めを行います。
- 設楽ダムでは、振動ローラ、ブルドーザ、ダンプトラックの自動運転技術を取り入れ施工していく予定です。

RCD工法 施工イメージ

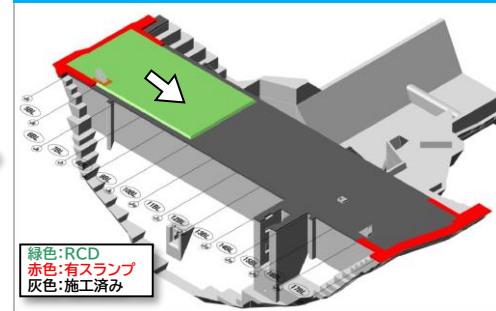
RCD工法（STEP1:内部先行・外部後行）



RCD工法（STEP2:内部先行・外部後行 継続）



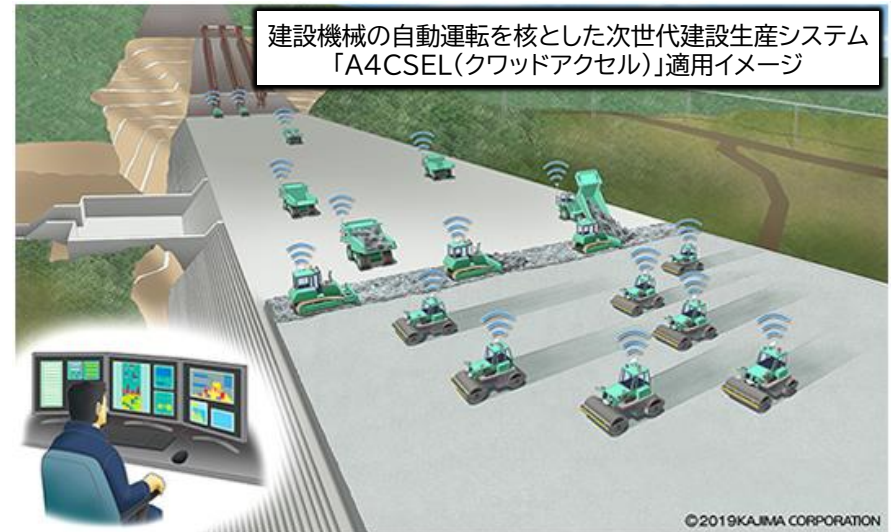
RCD工法（STEP3:次リフト内部先行・外部後行）



RCD工法施工状況（関東地整：湯西川ダム）



建設機械の自動運転を核とした次世代建設生産システム「A4CSEL（クワッドアクセル）」適用イメージ



奥三河自然環境シンポジウム

- 10月26日に、奥三河自然環境シンポジウムを開催しました。
- 奥三河の自然環境の保全やその自然環境を活かした地域の魅力向上に関する講演やパネルディスカッションを行いました。また奥三河の環境をより身近に感じていただくため「ネコギギのぼり」を作成し、そのお披露目を行いました。併せて会場ではネコギギの生態展示や設楽ダムで実施している環境保全の取組、東山動植物園やぎょぎょランドでのネコギギ飼育の取組、設楽町内の小学校でのネコギギ飼育体験状況のポスター展示を行いました。
- 約100名の方にご参加いただき「自然環境の保全や地球温暖化への気づきが得られた」「奥三河の自然や生態系の魅力を理解し、保全の必要性を感じた」「自然環境への理解を深めるために今後もイベント等に参加したい」などの声が寄せられ、多くの方に奥三河の自然環境の保全に関して考えていただくきっかけになりました。



講演状況
(奥三河ふるさとガイド加藤様)



ネコギギのぼりお披露目
(田口高校 理科部院)



パネルディスカッション開催状況



会場の状況



ネコギギ生態展示状況

設楽ダム本体工事着工式の実施について

- 設楽ダム本体工事の着手にあたり、関係各位へ謝意を表すとともに、この工事を安全かつ順調に進捗させ、無事故・無災害で完了することを祈念して、ダム本体工事の着工式を令和6年11月23日に執り行いました。



「鍬入れ」の様子



地元伝統芸能
「田峯歌舞伎」の演舞



設楽中学校生徒会長
「期待の言葉」